

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：東広島市

1 要旨

東広島市の森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、東広島市の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全型	・手入れ不足の里山林では、竹林化が進むほか、枯損木などが長年放置されたままとなっている。	・竹林化、枯損木などの放置により、里山林の景観の悪化が課題となっている。	・竹林や枯損木の伐採、整理など、適切な森林整備が行われ、景観が保たれた里山林を目指す。	・景観が悪化している地域の里山林について、地域全体の景観を向上させるための森林整備を行う。
防災・減災型	・手入れ不足により、里山林がやぶのような状況となり木の成長が阻害されるほか、枯損木が放置されたままの状態になっている。	・手入れ不足の里山林は枯損木が放置されたままとなっており、倒木被害の恐れがある。	・適切な森林整備により、安全な林内環境を保ち、水源の涵養機能、土地の保全機能が維持された里山林を目指す。	・枯損木の伐採、整理等を行い、倒木被害を防止することで安全な林内環境で森林整備を行うことにより、土地の保全機能等の維持を図る。
地域資源活用型	・手入れ不足により、身近にふれあうことができる里山林が減少している。	・地域の資源となる里山林が手入れ不足により、その価値が低下しており、ふれあいの場として利用することが困難になっている。	・適切な森林整備により里山林を維持・再生させ、ふれあいの場、安らぎの場等として利用することで、地域の活性化に寄与する里山林を目指す。	・地域の資源である里山林を整備し、森林とのふれあいを一層深める場として利用の促進を図る。
鳥獣被害防止型	・シカやイノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げ、鳥獣被害が拡大している。	・シカやイノシシなどによる鳥獣被害が拡大しているため、野生動物との共生を目指した里山林整備が課題となっている。	・野生動物が人里近くまで活動域を広げつつあることから、生物多様性の保全や野生動物との棲み分けがされるなど、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し、野生動物との共生を目指す。	・鳥獣被害が著しい地域において、農地を守る取組みと併せてバッファゾーンとしての森林整備を持続した管理が見込まれる地域から重点的に実施する。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者) ※主体別に記入 森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり事業を活用するボランティア団体及び住民団体は財務基盤等が脆弱であるため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。 また、構成員の高齢化が進む団体にあつては、活動の次世代への引継ぎが課題となっている。 【森林ボランティア団体数：2団体】 【住民団体：9団体】 【NPO、実行委員会等：2団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの収入と会費で運営されながら、森づくり事業を活用し、森林保全活動を継続して展開することにより、森林の荒廃を防ぐとともに地域の活性化に寄与する。 ・活動への参加者が増加するとともに、実行委員会などの主導による里山林整備活動が展開される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、ボランティア団体等の活動の維持と組織の活性化を図り、次世代に活動が引き継がれていくよう取組みを支援する。
取組への理解促進 参加拡大による理解促進 事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか情報発信していく必要がある。 ・森林・林業に関するイベントや活動などの情報が乏しいため、市民の参加ができていない状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が森づくり県民税の使途や効果、実績、などについて理解している。 ・市民が森林・林業に関するイベントや活動などの必要な情報を容易に取得できることで、参加拡大につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、市広報誌を活用し事業の実績や効果を市民に広く発信することにより、事業の周知効果を高め、県民理解の促進に努める。 ・ひろしまの森づくり県民税によって展開されている森づくり事業について、参加拡大につながるよう市のHPにおいても積極的にPRを行う。 ・事業実施箇所については、森づくり事業で整備した旨の看板を設置するなどし、理解促進を図る。